

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	道路台帳整備事業												
事業担当	所属	建設交通部 道路河川課					所属長	荒木 正人					
会計情報	事業コード	120121	款	08 土木費	項	02 道路橋りょう費	目	01 道路橋りょう総務費	会計	01 一般会計	決算付属資料	190	頁
施策体系	施策コード	030302		施策名	市道などの整備を推進する								
計画期間	開始年度	昭和63年度		終了予定年度	令和2年度		関連計画名	-					
根拠法令等	道路法第28条												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	道路台帳を正確に補正し、調書及び図面を整備することにより最新の情報に更新していく。道路行政の執行及び市民の経済活動その他に寄与する。								
対象者	市民、道路・橋りょう利用者、業者及び市職員			対象者数	78,000		単位あたりコスト	0.2	
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等	地図作成、測量設計業者等								
事業概要 (箇条書き)	○道路法第28条により規定されている道路台帳の整備を行う。 道路工事などにより、形状などに変更があった箇所について、以下のとおり道路台帳の補正更新。 ①台帳補正：補正対象路線 新規認定路線、廃止路線、拡幅・区域変更・改良路線、路面種別変更路線 ②路線網データ作成：世界測地系に変換されたデータを京都府1/2500を背景にし、データ作成 ○毎年1回定期的に補正をしており、前年度認定・廃止・区域変更等告示した路線や改良した道路、帰属を受け認定した道路等を現地測量等実施して整備している。								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)			主な業務内容				
	委託料	14,454			道路台帳更新業務委託				

III 予算執行状況												
区分	H30(評価前年度)		R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	3,000		6,000		3,300		3,080				
	② 補正予算	0		0		0		0				
	③ 繰越予算	0		0		0		0				
	前年度繰越	0		0		0		0				
	次年度繰越	0		0		0		0				
小計(①~③)	3,000		6,000		3,300		3,080					
予算財源内訳	① 一般財源	0		0		0		0				
	② 国支出金	0		0		0		0				
	③ 府支出金	0		0		0		0				
	④ 地方債	0		0		0		0				
	⑤ その他特財	3,000		6,000		3,300		3,080				
決算情報	① 流充用額	834		8,454		0		0				
	② 配当予算	3,834		14,454		0		0				
	③ 執行額	3,834		14,454		0		0				
	④ 執行率	100.0%		100.0%								
人概工算	① 従事職員数 (正職員・専任職員)	0.89/0		0.54 / 0.00		0.54 / 0.00		0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	7,120		4,320		4,320		0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	10,954		18,774		4,320							
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	道路占用料			種類	土木使用料		実績金額	14,446	決算付属資料	12	頁
	特財名称	道路幅員証明手数料			種類	土木手数料		実績金額	2	決算付属資料	16	頁
	特財名称	コピー代(道路台帳)			種類	雑入		実績金額	5	決算付属資料	44	頁

IV 業績指標										
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標			
	台帳更新業務	件	2/2	1/1	2 / 2	/	2	-		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標			
	補正路線数	路線	58/58	20/20	33 / 60	/	-	-		
	単位あたりコスト		87.52	191.70	438.00	/				
	単位あたりコスト		/	/	/	/				

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	<ul style="list-style-type: none"> 道路法に基づく道路行政の執行及び市民の経済活動その他に道路台帳の情報が必要であるため、新しい情報に更新することは必要不可欠である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	△	<ul style="list-style-type: none"> 道路台帳は紙媒体が基本であるが、情報処理には電子媒体が効率的であり、双方の整備が必要である。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	<ul style="list-style-type: none"> 道路台帳は、インフラに関する基礎的なデータとしてあらゆる行政その他の活動に資するものである。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	<p>毎年1回必ず補正をしており、調書及び図面を整備することにより最新の情報に更新している。 補正する路線数についてはその年の事業内容等によるため年度によってばらつきがあるが、変更すべき箇所については漏れなく更新できている。</p>		
これまでの課題及び今後の方向性	<p>道路台帳を整備することは、道路法において規定されており、道路行政の執行及び道路管理事務の円滑な遂行等にも道路台帳の情報が必要となる。毎年、道路工事などで道路の形状変更があり、継続的な修正が必要となるので、できるだけ簡易な方法で修正を行ったうえで、閲覧に供するようにしていく必要がある。 今後、台帳の電子化について、内容等を検討していく。</p>		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中事業評価	

VII 評価をふまえた次年度事業方針

	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<p>道路法の規定により、実施必須の事業である。 修正すべき点を漏らすことなく、適切な更新に努める。 道路台帳の電子化については、実施の是非を含め慎重に検討していく。</p>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 予算縮減
	<input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	道路維持管理事業												
事業担当	所属	建設交通部 道路河川課					所属長	芦田 裕人					
会計情報	事業コード	120122	款	08 土木費	項	02 道路橋りょう費	目	02 道路維持費	会計	01 一般会計	決算付属資料	190	頁
施策体系	施策コード	030302		施策名	市道などの整備を推進する								
計画期間	開始年度	昭和63年度		終了予定年度	令和2年度		関連計画名	-					
根拠法令等	-												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報										
事業目的 (あるべき姿)	市道を適正に維持管理することにより、市民の安心・安全な道路交通を確保する。									
対象者	全市民 市道・高齢化が進行した自治会の幹線道路等			対象者数	78,000		単位あたりコスト	1.4		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()									
委託先・実施主体等	土木工事施工業者等									

事業概要 (箇条書き)	○道路/パトロール及び地元からの通報などにより、道路施設の損傷を迅速に調査し必要に応じて緊急修繕を実施する。 ○地元要望による危険箇所等の改修を行う。 ○市街地や福知山駅周辺の街路樹剪定と落葉除去等を計画的に実施するとともに、市内の幹線道路の除草、側溝の堆積土砂の除去、照明灯の維持管理などを行わない道路の保全を図る。								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	報償費	2,429	市道法面除草作業謝礼						
	需用費	21,760	道路修繕、道路維持管理用品等購入ほか						
	役員費	12,882	道路清掃業務、ごみ廃棄手数料ほか						
	委託料	35,262	街路樹剪定業務委託、市道等除草業務委託ほか						
	工事請負費ほか	1,307	防犯灯設置工事、側溝蓋設置工事						

III 予算執行状況											
区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	93,375	59,289		69,281		71,915				
	② 補正予算	0	0		0		0				
	③ 繰越予算	0	0		0		0				
	前年度繰越	0	0		0		0				
	次年度繰越	0	0		0		0				
小計(①~③)	93,375	59,289		69,281		71,915					
予算財源内訳	① 一般財源	0	0		0		0				
	② 国支出金	0	0		0		0				
	③ 府支出金	0	0		0		0				
	④ 地方債	0	0		0		0				
	⑤ その他特財	93,375	59,289		69,281		71,915				
決算情報	① 流充用額	15,549	14,351		0		0				
	② 配当予算	108,924	73,640		0		0				
	③ 執行額	108,795	73,640		0		0				
	④ 執行率	99.9%	100.0%								
人概工算	① 従事職員数 (正職員/専任職員)	2.85/2	3.66	/	2.00	3.66	/	2.00	0.00	/	0.00
	② 概算人件費	27,800	34,280		34,280		0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	136,595	107,920		34,280							
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	道路占用料		種類	土木使用料		実績金額	67,586	決算付属資料	12	頁
	特財名称	放置自転車保管料		種類	雑入		実績金額	4	決算付属資料	46	頁
	特財名称	放置自転車買取代		種類	雑入		実績金額	41	決算付属資料	46	頁

IV 業績指標									
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
					- / -	/ -	-		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	委託件数(土砂撤去等)	箇所	130/100	45/100	54 / 100	/ -	-		
	単位あたりコスト		1022.25	2417.67	1363.71				
	修繕件数	箇所	221/150	114/150	100 / 150	/ -	-		
	単位あたりコスト		601.32	954.34	736.40				

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の安心・安全な道路交通を確保をはじめ、市民生活の基盤を支えていく上で、市道管理者として道路の適正な維持管理を行うことは必要である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・地区ごとに道路パトロールを実施し、同一地区の修繕をまとめて行うことで効率的な事業実施を図っている。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・市道を適正に維持管理することによる市民生活の向上の観点からも、事業実施による有効性は増加している。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	<p>市道を適正に維持管理することにより市民の安心・安全な道路交通を確保することを目的としており、損傷などがあつた場合には修繕等の対応を可能な限り迅速に行わなければならない。道路パトロール、各自治会、市民からの要望、通報など、様々な方法で情報収集するよう努めており、情報を得たら地区等関係なくその時に動ける職員がすぐに対応することで迅速に対応出来ている。維持管理事業であり、業績指標の目標設定は困難であるため設定しない。【定性的評価】</p>		
これまでの課題及び今後の方向性	<p>市道の維持管理は、市民生活に密接に関係しており、生活利便性の向上、車両・歩行者等の交通安全の確保、治水機能の維持として重要な業務である。街路樹剪定、落葉清掃、除草、側溝清掃、街路灯修繕等を計画的に実施することにより、道路環境の保全を図っているが、街路樹、除草等、年々樹木も大きくなり経費がかかることから維持管理できる範囲が減ってきている。限られた財源を効率的、効果的に実施していけるよう配分を行なうとともに、緊急度・優先度を考慮しながら危険箇所を優先的に実施していく。</p>		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中事業評価	

VII 評価をふまえた次年度事業方針

	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<p>市民生活の維持・向上のために必須の事業であるため、前年度と同程度の予算を要求し、継続して適正に実施する。緊急度・優先度を考慮しながら効率的・効果的な実施に努める。</p>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	---

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	除雪関連事業												
事業担当	所属	建設交通部 道路河川課					所属長	荒木 正人					
会計情報	事業コード	120123	款	08 土木費	項	02 道路橋りょう費	目	02 道路維持費	会計	01 一般会計	決算付属資料	190・192	頁
施策体系	施策コード	030302		施策名						市道などの整備を推進する			
計画期間	開始年度	昭和63年度		終了予定年度	令和2年度		関連計画名			福知山市地域防災計画、福知山市除雪計画、福知山市除雪機械整備費補助金交付基準			
根拠法令等	-												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報										
事業目的 (あるべき姿)	福知山市除雪計画に沿って主要生活道路の除雪作業を行なうことにより、市民の生活道路を確保し安心・安全な生活に寄与する。									
対象者	市民、除雪対象市道、市民以外の通行者			対象者数	78,000		単位あたりコスト	1.2		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()									
委託先・実施主体等	除雪受託業者									
事業概要 (箇条書き)	○福知山市除雪計画に沿って、市内の除雪路線340路線、協議路線76路線、計416路線を市内38業者に委託して除雪を実施する。 ○凍結防止対策として、2業者による凍結防止剤の機械散布と、職員による必要箇所への凍結防止剤の設置を行う。 ○除雪計画で対応できない市道路線を除雪してもらうため、自治会等が除雪機械を購入する際の費用を助成する。									
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)		主な業務内容						
	需用費	3,728		除雪車輛点検整備・修繕、凍結防止剤購入ほか						
	役員費	1,172		除雪車輛点検整備、除雪車輛自動車保険加入						
	委託料	36,495		市道除雪業務委託						
	使用料及び賃借料	41,972		除雪車輛・車庫賃貸借						
	負担金補助及び交付金ほか	803		除雪機械等購入補助金ほか						

III 予算執行状況												
区分	H30(評価前年度)		R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	59,213	61,887	108,357	187,432							
	② 補正予算	49,000	0	0	0							
	③ 繰越予算	0	0	0	0							
	前年度繰越	0	0	0	0							
	次年度繰越	0	0	0	0							
小計(①～③)	108,213	61,887	108,357	187,432								
予算財源内訳	① 一般財源	62,197	0	0	0							
	② 国支出金	0	0	0	10,000							
	③ 府支出金	0	0	0	0							
	④ 地方債	0	0	46,200	129,400							
	⑤ その他特財	46,016	61,887	62,157	48,032							
決算情報	① 流充用額	△ 9,527	22,283	0	0							
	② 配当予算	98,686	84,170	0	0							
	③ 執行額	90,220	84,170	0	0							
	④ 執行率	91.4%	100.0%									
人概工算	① 従事職員数 (正職員・専任職員)	0.45/0	0.75 / 0.00	0.75 / 0.00	0.00 / 0.00							
	② 概算人件費	3,600	6,000	6,000	0							
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	93,820	90,170	6,000									
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	社会資本整備総合交付金		種類	土木費国庫補助金		実績金額	5,620		決算付属資料	20	頁
	特財名称			種類			実績金額			決算付属資料		頁
	特財名称			種類			実績金額			決算付属資料		頁

IV 業績指標									
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	除雪・協議路線	km	258.4/258.4	260.3/260.3	265.1 / 265.1	/ 265.1	265.1		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	業者出勤日数	日	36/36	18/18	11 / 30	/ 30	30		
	単位あたりコスト		3282.56	5012.22	7651.84				
	出勤業者数	者	186/186	106/106	64 / 222	/ 222	222		
	単位あたりコスト		635.33	851.13	1315.16				

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	<ul style="list-style-type: none"> 道路の通行確保及び凍結防止対策に対する住民ニーズは高い。 冬期の道路網の確保という観点で、市道の管理者として取組む必要性は高い。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	<ul style="list-style-type: none"> 除雪計画に沿って積雪状況等により必要性・緊急度等を考慮し実施している。 固定経費については、長期継続契約の期間延長などを検討していく。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	<ul style="list-style-type: none"> 住民ニーズに応えるとともに、冬期における市民生活の確保と安全性の向上の観点から有効性は高い。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	福知山市除雪計画に沿って主要な生活道路の除雪を行なうことにより、冬期における道路交通の確保を行い、積雪による市民生活への影響を抑え市民生活の維持を図っている。 迅速に除雪作業、凍結防止剤散布作業を行なうことにより、市道の安心・安全な交通を確保している。		
これまでの課題及び今後の方向性	積雪の多い地域を有する本市において、冬期における基幹市道の通行及び円滑な交通の確保に除雪業務は今後も必要不可欠である。年々、除雪業者における除雪車両の維持やオペレーターの確保等が難しい状況や事故が発生してきており、地元企業の少ない地域においては除雪業者の確保に苦慮する状況が生じている。今後、除雪作業を担っている業者の負担が少なくなるように、舗装路面の平滑化(突起物をなくすこと)や除雪業者と実施路線の点検・見直し等を行っていく。		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	

VII 評価をふまえた次年度事業方針

	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	積雪時の市道の安心・安全な交通確保のために必要な事業である。 引き続き適正に実施する。 前年度と同程度の予算要求に加え、リース契約期間が満了する除雪自動車の更新について買い替えで考えているため、車両の購入予算を要求する。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	---

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	道路橋りょう一般管理事業												
事業担当	所属	建設交通部 道路河川課				所属長	荒木 正人						
会計情報	事業コード	120203	款	08 土木費	項	02 道路橋りょう費	目	02 道路維持費	会計	01 一般会計	決算付属資料	192	頁
施策体系	施策コード	030302		施策名	市道などの整備を推進する								
計画期間	開始年度	昭和63年度		終了予定年度	令和2年度		関連計画名	-					
根拠法令等	-												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	道路・橋りょうを適切に維持管理し安全性を高めることで、安全・安心のまちづくりの推進を図る。								
対象者	市民、道路・橋りょう利用者及び市職員			対象者数	78,000		単位あたりコスト	0.2	
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等									
事業概要 (箇条書き)	○おもに道路・橋りょうの街路灯の維持管理経費。 ○その他、道路・橋りょうについての研修会等に参加する予算を確保し、職員の技術力アップを図る。								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)		主な業務内容					
	旅費	232		研修等参加、各種協議(府、地権者等)、裁判出席ほか					
	需用費	15,544		事務用品、電気料金ほか					
	負担金補助及び交付金	40		講習会受講料(iMec)					

III 予算執行状況												
区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	14,108	14,578		14,709		14,716					
	② 補正予算	0	0		0		0					
	③ 繰越予算	0	0		0		0					
	前年度繰越	0	0		0		0					
	次年度繰越	0	0		0		0					
小計(①~③)	14,108	14,578		14,709		14,716						
予算財源内訳	① 一般財源	0	0		0		0					
	② 国支出金	0	0		0		0					
	③ 府支出金	0	0		0		0					
	④ 地方債	0	0		0		0					
	⑤ その他特財	14,108	14,578		14,709		14,716					
決算情報	① 流充用額	1,984	1,238		0		0					
	② 配当予算	16,092	15,816		0		0					
	③ 執行額	16,092	15,816		0		0					
	④ 執行率	100.0%	100.0%									
人概工算	① 従事職員数 (正職員/専任職員)	0.03/0	0.04	/	0.00	0.04	/	0.00	0.00 / 0.00			
	② 概算人件費	240	320		320		0					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	16,332	16,136		320								
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	道路占用料		種類	土木使用料		実績金額	15,815,769		決算付属資料	12	頁
	特財名称			種類			実績金額			決算付属資料		頁
	特財名称			種類			実績金額			決算付属資料		頁

IV 業績指標									
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	執行額	千円	14,445/14,708	16,092/14,108	/ -	/ -	-		
			/	/	/	/			
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	講習会等参加	回			2 / 2	/ 2	-		
	単位あたりコスト				7907.88				
			/	/	/	/			
	単位あたりコスト								

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	<ul style="list-style-type: none"> 道路、橋りょうの利用者の安全な通行を確保するために、街路灯の維持管理は必要である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	△	<ul style="list-style-type: none"> 街路灯にかかる電気代は年々、微増傾向にあり、光熱水費の削減を図るため、更新時に電気代及び耐用年数の高い、LEDへの更新を検討する。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	<ul style="list-style-type: none"> 道路管理者として、設置しているものであり、通行者の安全確保のために有効である。

事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	道路・橋りょうの利用者のために街路灯を設置しているものであり、利用者の安全確保のために必要不可欠な事業である。維持管理事業のため、業績指標の目標設定は困難であるため設定しない。【定性的評価】		
--------------------------	---	--	--

これまでの課題及び今後の方向性	市域にはかなり多くの街路灯があり、維持管理にかかる費用は年々増加している。道路、橋りょうの利用者の安全な通行を確保するために、街路灯の適正な維持管理は必要不可欠である。街路灯にかかる経費は微増傾向にあることから、コスト削減を図るためにLEDへの更新は検討しているが、なかなか増えていない状況である。今後、LED灯への計画的な更新など検討していく必要がある。		
-----------------	--	--	--

VI 他部署評価

事後事業評価			
--------	--	--	--

事中事業評価			
--------	--	--	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	道路橋りょう利用者の安全確保のために必須の事業であり、引き続き継続して適正に実施する。LED化を実施するが、年度当初からの予算削減は困難であるため、予算要求は前年度と同程度とする。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	---

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	長田野工業団地維持管理事業												
事業担当	所属	建設交通部 道路河川課					所属長	芦田 裕人					
会計情報	事業コード	120207	款	08 土木費	項	02 道路橋りょう費	目	02 道路維持費	会計	01 一般会計	決算付属資料	192	頁
施策体系	施策コード	030302		施策名	市道などの整備を推進する								
計画期間	開始年度	昭和63年度		終了予定年度	令和2年度		関連計画名	-					
根拠法令等	-												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業	-												

II 事業基礎情報										
事業目的 (あるべき姿)	長田野工業団地内の道路の維持管理を行う。									
対象者	市民・長田野工業団地企業、長田野工業団地内市道の利用者			対象者数	6,395		単位あたりコスト	2.3		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()									
委託先・実施主体等	土木工事施工業者等									
事業概要 (箇条書き)	○長田野工業団地内の道路における、老朽化などにより破損した道路構造物の補修、修繕を行う。併せて道路上に繁茂した街路樹の剪定及び除草を行なう。 ○団地内の街路灯の電気料を支払う(街路灯にかかる協定書に基づき、維持管理にかかる電気料金の50%以内について長田野工業センターに費用負担を求める)。 ○団地内の部分改良工事を計画的に実施し道路を維持管理することにより、安全性・利便性の向上を図る。									
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)			主な業務内容					
	需用費	8,447			電気料金、As舗装修繕、街路灯修繕ほか					
	役員費	292			長田野工業団地本線道路清掃業務					
	委託料	4,587			市道維持管理業務委託、除草剪定伐採業務委託					

III 予算執行状況													
区分	H30(評価前年度)		R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	16,300		13,800		8,300		5,900					
	② 補正予算	0		0		0		0					
	③ 繰越予算	0		0		0		0					
	前年度繰越	0		0		0		0					
	次年度繰越	0		0		0		0					
小計(①~③)	16,300		13,800		8,300		5,900						
予算財源内訳	① 一般財源	0		0		0		0					
	② 国支出金	0		0		0		0					
	③ 府支出金	0		0		0		0					
	④ 地方債	0		0		0		0					
	⑤ その他特財	16,300		13,800		8,300		5,900					
決算情報	① 流充用額	△ 3,506		△ 474		0		0					
	② 配当予算	12,794		13,326		0		0					
	③ 執行額	12,794		13,326		0		0					
	④ 執行率	100.0%		100.0%									
人概工算	① 従事職員数 (正職員・専任職員)	0.28/0		0.16 / 0.00		0.16 / 0.00		0.00 / 0.00					
	② 概算人件費	2,240		1,280		1,280		0					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	15,034		14,606		1,280								
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	長田野工業団地街路灯維持管理負担金			種類	雑入		実績金額	2,734		決算付属資料	48	頁
	特財名称	道路占用料			種類	土木使用料		実績金額	10,591		決算付属資料	12	頁
	特財名称				種類			実績金額			決算付属資料		頁

IV 業績指標									
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
						/			
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	工事・修繕	箇所	13/13	3/3	6 / 7	/ 10	-		
		単位あたりコスト	1162.46	4264.67	2220.92				
	業務(剪定・除草)	箇所	6/6	4/4	9 / 5	/ 5	-		
	単位あたりコスト	2518.67	3198.50	1480.61					

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	<ul style="list-style-type: none"> 団地内において、道路や付属施設の老朽化が著しくなっており修繕要望も多く、事業を継続して実施していく必要性は大きい。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	<ul style="list-style-type: none"> 長田野工業団地を適正に維持管理していくうえで必要最低限度の経費であり、業者への委託のほか可能な範囲で直営作業も実施することでコスト削減に努めている。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	<ul style="list-style-type: none"> 工業団地内の企業及び道路利用者の安全性・利便性の維持及び向上において、本事業の実施は有効である。

事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	道路パトロール、長田野工業センターなどからの連絡、通報などにより、道路施設の損傷、不具合について迅速に調査し修繕を実施している。街路樹の剪定、除草などについても適正に維持管理することで道路環境の保全を図ることができている。【定性的評価】
--------------------------	--

これまでの課題及び今後の方向性	団地内において、老朽化が著しい道路構造物が増えつつあるなかで、要望も多く迅速に対応できていない。団地内街路樹の巨木化と老朽化が進行しており、道路や付属施設の老朽化も年々著しくなっていることから、維持管理に要する費用は増加傾向になると予想されるため、限られた財源のなか、より効率的な執行を行なっていく必要がある。
-----------------	---

VI 他部署評価

事後事業評価	
--------	--

事中山業評価	
--------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	継続して適正に実施する。 光熱費等については確保しつつ、修繕については精査し実施する。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	---

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	長田野工業団地利活用増進事業(道路環境整備)												
事業担当	所属	建設交通部 道路河川課				所属長	芦田 裕人						
会計情報	事業コード	120232	款	08 土木費	項	02 道路橋りょう費	目	02 道路維持費	会計	01 一般会計	決算付属資料	192	頁
施策体系	施策コード	030302	施策名	市道などの整備を推進する									
計画期間	開始年度	令和元年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名	長田野工業団地利活用増進計画							
根拠法令等	-												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	長田野工業団地内における街路樹について、繁茂により視距不良や横断幅員の減少及び根などによる路面の凹凸等が課題となっているため、同工業団地利活用増進計画に基づき、街路樹伐採等を行い団地内の交通環境の改善を図る。								
対象者	市民・長田野工業団地企業、長田野工業団地内市道の利用者	対象者数	6,395	単位あたりコスト	1.6				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等	土木工務施工業者等								
事業概要 (簡易書き)	○団地内企業等の意見を聴きながら計画的に街路樹伐採を行う。								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	委託料	8,842	長田野工業団地本線ほか街路樹伐採業務						

III 予算執行状況										
区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	0	10,000	23,460	44,300					
	② 補正予算	0	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0	0					
小計(①~③)	0	10,000	23,460	44,300						
予算財源内訳	① 一般財源		0	0	0					
	② 国支出金		0	0	0					
	③ 府支出金		0	0	0					
	④ 地方債		0	0	0					
	⑤ その他特財		10,000	23,460	44,300					
決算情報	① 流充用額	0	△ 1,158	0	0					
	② 配当予算	0	8,842	0	0					
	③ 執行額	0	8,842	0	0					
	④ 執行率		100.0%							
人概工算	① 従事職員数 (正職員・専任職員)	0.18	/	0.00	0.18	/	0.00	0.00	/	0.00
	② 概算人件費			1,440	1,440		0			
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	0	10,282	1,440							
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	長田野工業団地利活用促進事業(道路環境整備)基金繰入	種類	基金繰入金	実績金額	8,841	決算付属資料	40	頁	
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁	
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁	

IV 業績指標									
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	街路樹伐採本数	本			223 / 100	/ 400	1229		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	街路樹伐採本数	本			223 / 100	/ 400	1229		
	単位あたりコスト				39.65				
	単位あたりコスト				/	/			

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	・長田野工業団地内における交通安全確保のため、必要な事業である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	・現場の企業等の意見を聴くことで、必要なところから効率的に実施できている。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	・道路環境を整備することで利用者の安心・安全を確保するほか、工業団地のイメージアップにも繋がるものであり、有効である。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	計画的に管理することで道路環境の向上を図ることができている。		
これまでの課題及び今後の方向性	団地内街路樹の巨木化と老朽化が進行していることに加え、道路や付属施設の老朽化も年々著しくなっている。限られた財源のなか、より効率的な執行を行なっていく必要がある。		

VI 他部署評価

事後事業評価	<ul style="list-style-type: none"> 市と企業側と調査し計画策定をしたうえで事業であり妥当だと考える。 長田野工業センターの意見を聞いた上で実施されており、対応も早急に必要で、必要な事業と考える。 この事業には歩道の整備も今後行われることが必要と考えているが、実施されるとのことでは方向性は良いと考える。 成果実績、活動実績の設定値を事業内容に合わせて再整理すべき。
事中山業評価	

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	成果実績、活動内容の設定数値を事業内容に合わせて実施する。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	---

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	辺地対策事業												
事業担当	所属	建設交通部 道路河川課				所属長	芦田 裕人						
会計情報	事業コード	120307	款	08 土木費	項	02 道路橋りょう費	目	03 道路新設改良費	会計	01 一般会計	決算付属資料	192	頁
施策体系	施策コード	030302		施策名	市道などの整備を推進する								
計画期間	開始年度	平成23年度		終了予定年度	令和2年度		関連計画名	辺地計画					
根拠法令等	-												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	交通条件及び自然的、経済的、文化的諸条件に恵まれず、ほかの地域に比較して住民の生活文化水準が著しく低い山間地、離島その他のへんびな地域である辺地地域における交通基盤を確保するとともに、地域の活性化を図る。								
対象者	地元住民、道路利用者・辺地指定地域内の市道・過疎指定地域内の市道	対象者数	1,062		単位あたりコスト	6.6			
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等	土木工事施工業者等								
事業概要 (簡条書き)	○辺地計画に基づいて市道の新設改良を行ない、良好な生活道路を確保する。								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	工事請負費	4,725	中佐々木キタ線道路舗装改良工事						

III 予算執行状況											
区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000				
	② 補正予算	0	0	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0	0	0	0				
小計(①~③)	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000					
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0	0	0	0				
	② 国支出金	0	0	0	0	0	0				
	③ 府支出金	0	0	0	0	0	0				
	④ 地方債	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000				
	⑤ その他特財	0	0	0	0	0	0				
決算情報	① 流充用額	0	△ 276	0	0	0	0				
	② 配当予算	5,000	4,725	0	0	0	0				
	③ 執行額	4,690	4,725	0	0	0	0				
	④ 執行率	93.8%	100.0%								
人概 工算	① 従事職員数 (正職員/兼任職員)	0.17/0	0.28 / 0.00	0.28 / 0.00	0.00 / 0.00	0.00 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	1,360	2,240	2,240	0	0	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	6,050	6,965	2,240								
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	辺地対策債		種類	土木債		実績金額	4,600	決算付属資料	52	頁
	特財名称			種類			実績金額		決算付属資料		頁
	特財名称			種類			実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標									
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	工事実施路線	路線	1/1	1/1	1 / 1	/ 1	-		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	工事実施路線	路線	1/1	1/1	1 / 1	/ 1	-		
	単位あたりコスト		4668.00	4690.00	4724.50				
	単位あたりコスト		/	/	/	/			

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	・辺地地域における生活道路の老朽化及び不便さを解消し、良好な交通基盤を確保するため、必要な事業である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	・有利な財源である辺地対策債を活用し、辺地計画に基づいて事業実施している。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	・辺地地域の住民ニーズに応えるとともに、市道改良により市民生活の向上と安全性の向上が図れる。辺地地域の活性化に寄与することで有効性は増加している。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	本市における辺地地域において、辺地対策事業の対象自治会からの要望に対し、辺地計画に基づき辺地対策債という有利な財源を活用しながら計画的に市道の道路舗装改良を実施しており、快適な生活環境の確保や辺地地域の活力の創造に資することができている。		
これまでの課題及び今後の方向性	有利な財源である辺地対策債を活用して計画的に事業実施していく必要がある。		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	

VII 評価をふまえた次年度事業方針

	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 事業の見直し	辺地計画に基づき、継続して適性を実施する。 道路舗装改良を採択し、市民生活の向上と安全性の向上を図り、快適な生活環境を確保するため計画的に実施する。 【H29棚卸による見直し状況】 事業採択の選定基準については策定済である。辺地計画が令和2年度で一旦区切りとなる。新たな計画として新規路線を採択しており、今後実施していくこととした。
	<input type="checkbox"/> 統合/組換	
	<input type="checkbox"/> 廃止/休止	
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 廃止/休止	<input type="checkbox"/> 予算拡充	<input type="checkbox"/> 予算縮減
	<input type="checkbox"/> 他事業を統合	(統合事業名:)		<input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位:千円)

I 事業属性													
事業名	防衛施設周辺整備事業												
事業担当	所属	建設交通部 道路河川課				所属長	芦田 裕人						
会計情報	事業コード	120312	款	08 土木費	項	02 道路橋りょう費	目	03 道路新設改良費	会計	01 一般会計	決算付属資料	192	頁
施策体系	施策コード	030302		施策名	市道などの整備を推進する								
計画期間	開始年度	平成30年度	終了予定年度	令和6年度	関連計画名	-							
根拠法令等	-												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	防衛施設周辺の道路整備を行うことにより、安全な車輛経路の確保及び周辺住民の民生安定化を図る。												
対象者	地元住民・市民・市道	対象者数	31,285		単位あたりコスト	0.9							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()												
委託先・実施主体等													

事業概要 (箇条書き)	○防衛施設周辺道路にあたる市道室3号線ほか2線は、幅員が狭小で車両の離合が困難なことや車両通行による歩行者の危険性が高いこと等、住民生活に支障をきたしている。地元自治会は、高齢化が進行し、公共交通機関として唯一バスが当該路線を運行している集落であることなどから、早期に拡幅整備をし、周辺住民の生活の安心・安全化を図る。 ○福知山射撃場付近において万一火災が発生した場合、近隣に水源がなく、近隣住民は不安を感じている。不安解消のため室口池を緊急の消防水利として利用できるよう、アクセス道路となっている路線を整備する。												
----------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容									
	旅費	81	実施計画書提出等									
	需用費	24	事務用品購入等									
	委託料	21,157	不動産鑑定評価業務(用地課)、室3号線調査設計業務ほか									
	使用料及び賃借料	263	デジタル複合機賃借									
公有財産購入費ほか	3,406	防衛施設周辺整備事業(室3号線ほか2線)に係る土地売買契約(用地課)、ほか										

III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)	
予算情報	① 当初予算	16,341	26,410	28,286	20,502
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	0
	次年度繰越	0	0	0	0
小計(①~③)	16,341	26,410	28,286	20,502	
予算財源内訳	① 一般財源	4,903	2,023	7,549	5,473
	② 国支出金	11,438	18,487	20,737	15,029
	③ 府支出金	0	0	0	0
	④ 地方債	0	5,900	0	0
	⑤ その他特財	0	0	0	0
決算情報	① 流充用額	0	△ 1,480	0	0
	② 配当予算	16,341	24,930	0	0
	③ 執行額	16,059	24,930	0	0
	④ 執行率	98.3%	100.0%		
人概工算	① 従事職員数 (正職員・専任職員)	0.3/0	0.33 / 0.00	0.33 / 0.00	0.00 / 0.00
	② 概算人件費	2,400	2,640	2,640	0
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	18,459	27,570	2,640		

主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	防衛施設周辺整備事業国庫補助金	種類	土木費国庫補助金	実績金額	18,168	決算付属資料	20	頁
	特財名称	一般補助債	種類	土木債	実績金額	5,700	決算付属資料	52	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標	
	実施路線	線	/	/	0/3	3 / 3	/ 3	3
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標	
	実施路線	線	/	/	0/3	3 / 3	/ 3	3
	単位あたりコスト		0.00	0.00	8309.94			
	単位あたりコスト		/	/	/	/	/	

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	当路線は、周辺住民にとって主要な生活道路であるが、部分的に現道の幅員は狭小であり、緊急車両との離合は危険な状態であるため、道路整備が必要である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	地域住民の生活の安全確保のために必要な整備について、補助率(70%)が良い防衛補助金を活用することでコストを抑えながら効率的に実施している。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	事業実施することにより、バス及び緊急車両と一般車両の安全な離合が可能となり、利便性と安全性が向上し、駐屯地周辺の民生安定が図れる。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	補助率がよい防衛省の補助金を活用し、必要な整備を効率よく実施できている。		
これまでの課題及び今後の方向性	防衛施設周辺整備事業については、旭が丘小谷ヶ丘線をもって一旦終了することとなるため、今後は、防衛施設との因果関係を明確にし、新たな事業箇所の検討、選定を実施する。		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中事業評価	

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	補助金の確保を図りつつ、継続して適正に実施する。 【H29棚卸による見直し状況】 継続路線を実施中であり、新規路線採択には至っていない。採択に向け、引き続き検討を要する。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	---

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	道路改良事業												
事業担当	所属	建設交通部 道路河川課				所属長	芦田 裕人						
会計情報	事業コード	120313	款	08 土木費	項	02 道路橋りょう費	目	03 道路新設改良費	会計	01 一般会計	決算付属資料	192・194	頁
施策体系	施策コード	030302		施策名	市道などの整備を推進する								
計画期間	開始年度	昭和63年度		終了予定年度	令和2年度		関連計画名	-					
根拠法令等	-												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	地元からの市道改良要望路線等について、拡幅改良及び道路新設等を行う。 地元の要望に応えるだけでなく、車両の通行確保や市民生活の利便性向上、沿道住民及び市民生活の安心・安全性の向上を図る。								
対象者	地元住民・市民・市道		対象者数	78,000		単位あたりコスト	0.5		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等	測量設計業者、土地家屋調査士協会等								
事業概要 (箇条書き)	○地元からの市道改良要望路線等について、必要度・緊急度、経済効果等を考慮し拡幅改良及び道路新設等を行う。 (令和2年度実施予定路線数:4路線 うち新設改良2路線、部分改良1路線、舗装改良1路線)								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)		主な業務内容					
	役員費			1 収入印紙代(西町市寺線道路改良に伴う土地売買契約)(用地課)					
	委託料	875		公共嘱託登記業務(土師8号線、西町市寺線)					
	工事請負費	31,198		道路新設改良(法林寺長田野工業団地線ほか)、道路舗装改良(荒木正明寺線ほか)、道路部分改良(鴨野団地本線)					
公有財産購入費	107		道路改良事業(西町市寺線)に係る土地売買契約(用地課)						

III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	19,392	10,000	13,000	92,000				
	② 補正予算	0	24,000	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0	0				
小計(①~③)	19,392	34,000	13,000	92,000					
予算財源内訳	① 一般財源	15,617	12,260	12,860	28,880				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	0	0	0	0				
	④ 地方債	3,600	21,600	0	63,000				
	⑤ その他特財	175	140	140	120				
決算情報	① 流充用額	13,056	△ 1,819	0	0				
	② 配当予算	32,448	32,181	0	0				
	③ 執行額	24,528	32,181	0	0				
	④ 執行率	75.6%	100.0%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/兼任職員)	0.63/0	0.96 / 0.00	0.96 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	5,040	7,680	7,680	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	29,568	39,861	7,680						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	道路橋りょう費分担金	種類	土木費分担金	実績金額	179	決算付属資料	8	頁
	特財名称	公共施設等適正管理推進債	種類	土木債	実績金額	21,100	決算付属資料	52	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標	
	工事実施路線	路線	15 / 15	6 / 6	5 / 5	/	4	-
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標	
	工事実施路線	路線	15 / 15	6 / 6	5 / 5	/	4	-
	単位あたりコスト		2760.33	4088.00	6436.21			
	単位あたりコスト		/	/	/	/		

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・住民のニーズに応じた事業である。 ・道路の拡幅改良等により、緊急自動車の通行や沿道住民及び市民生活及び安全性の向上を確保するものである。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・地元要望路線について必要性、緊急性、経済効果などを考慮し適正な事業実施を行なっている。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・住民のニーズに応えとともに、改良による市民生活及び安全性の向上の観点から、有効性は増加している。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	地元の要望に応えながら、市民生活の利便性や安全性の向上を図れている。		
これまでの課題及び今後の方向性	道路改良に対する地元からの要望は多いため、必要性、緊急性、経済効果などを考慮しながら精査し、事業箇所を決定し実施している。しかしながら、財政状況は厳しいことから、施工路線についてはさらに精査し、優先度をつけて計画的に実施していく必要がある。また、社会資本整備総合交付金など、交付金が活用できるものは活用を検討する必要がある。		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	

VII 評価をふまえた次年度事業方針

	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	緊急性の高いものを精査して、適正に実施する。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	---

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	過疎対策事業												
事業担当	所属	建設交通部 道路河川課				所属長	芦田 裕人						
会計情報	事業コード	120315	款	08 土木費	項	02 道路橋りょう費	目	03 道路新設改良費	会計	01 一般会計	決算付属資料	194	頁
施策体系	施策コード	030302		施策名	市道などの整備を推進する								
計画期間	開始年度	平成22年度		終了予定年度	令和2年度		関連計画名	過疎計画					
根拠法令等	-												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業	二												

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	過疎地域における交通基盤を確保し、過疎地域の活性化を図る。 安心安全な道路交通を確保することにより、過疎地域における市民生活の向上を図る。								
対象者	地元住民、道路利用者・過疎指定地域内の市道	対象者数	10,791		単位あたりコスト	2.3			
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等	測量設計業者、土木工事施工業者								
事業概要 (簡条書き)	〇過疎計画に基づき市道の改良を行ない、安心安全で良好な交通基盤を確保する。								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	工事請負費	22,641	山田線改良工事(現年11,326,700、繰越11,314,560)						
	補償、補填及び賠償金	453	山田線道路改良工事に係る電気設備等移転補償						

III 予算執行状況											
区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	19,800	19,000	55,300	48,000						
	② 補正予算	0	0	0	0						
	③ 繰越予算	△ 6,397	5,594	7,220	0						
	前年度繰越	6,417	12,814	7,220	0						
	次年度繰越	△ 12,814	△ 7,220	0	0						
小計(①~③)	13,403	24,594	62,520	48,000							
予算財源内訳	① 一般財源	3	△ 6	20	0						
	② 国支出金	0	0	0	0						
	③ 府支出金	0	0	0	0						
	④ 地方債	13,400	24,600	62,500	48,000						
	⑤ その他特財	0	0	0	0						
決算情報	① 流充用額	0	0	0	0						
	② 配当予算	13,403	24,594	0	0						
	③ 執行額	13,006	23,094	0	0						
	④ 執行率	97.0%	93.9%								
人概工算	① 従事職員数 (正職員/兼任職員)	0.27/0	0.28 / 0.00	0.28 / 0.00	0.00 / 0.00						
	② 概算人件費	2,160	2,240	2,240	0						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	15,166	25,334	2,240								
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	過疎対策(現年・繰越)		種類	土木債		実績金額	23,000	決算付属資料	52	頁
	特財名称			種類			実績金額		決算付属資料		頁
	特財名称			種類			実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標									
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	実施路線	線	3/4	2/2	1 / 2	/ 4	13		
			/	/	/	/			
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	実施路線	線	3/4	2/2	1 / 2	/ 4	13		
	単位あたりコスト		7763.33	6503.00	23094.39				
			/	/	/	/			
	単位あたりコスト		0.00	0.00					

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	・過疎地域における生活道路の老朽化及び不便さを解消し、良好な交通基盤を確保するために必要である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	・過疎計画に基づき、有利な財源である過疎対策債を活用しながら事業実施している。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	・過疎地域の住民ニーズに応えるとともに、市道改良により市民生活の向上と安全性が図られる。辺地地域の活性化に寄与することで有効性は増加している。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	本市における過疎地域において、対象自治会からの要望に対して、過疎計画に基づき過疎対策債という有利な財源を活用し、計画的に市道の道路舗装改良等を実施しており、快適な生活環境の確保や過疎地域の活力の創造に資することができる。		
これまでの課題及び今後の方向性	今後も有利な財源を活用しながら効果的に事業実施していく必要がある。現計画は平成28年度から始まっているが、自治会からの要望全てに応えられているわけではないため、前期の過疎計画から継続となっている路線等については、重点的に整備する必要がある。		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中事業評価	

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	過疎計画に基づき、継続して適性を実施する。 【H29棚卸による見直し状況】 事業採択の選定基準については策定済である。過疎計画が令和2年度で一旦区切りとなる。新たな計画として新規路線を採択しており、今後実施していくこととした。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	---

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	社会資本整備総合交付金事業(道路整備)												
事業担当	所属	建設交通部 道路河川課					所属長	芦田 裕人					
会計情報	事業コード	120336	款	08 土木費	項	02 道路橋りょう費	目	03 道路新設改良費	会計	01 一般会計	決算付属資料	194	頁
施策体系	施策コード	030302		施策名	市道などの整備を推進する								
計画期間	開始年度	昭和63年度		終了予定年度	令和2年度		関連計画名	社会資本総合整備計画					
根拠法令等	-												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報

事業目的(あるべき姿)	府が設定する社会資本整備計画である「丹後・中丹地域の観光と産業の振興を支援する交通基盤施設の整備と安心安全なまちづくり」に関連した整備により、道路新設改良を行なう。												
対象者	市民・沿線住民・市内市道					対象者数	78,000		単位あたりコスト	7.0			
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()												
委託先・実施主体等	測量設計業者、土木工事施工業者等												
事業概要(箇条書き)	○道路改良等を実施することで交通基盤の整備を図り、観光及び産業の振興を支援する。 ○由良川水系河川整備計画に伴い、府道福知山綾部線と府道舞鶴綾部福知山線に接続している川北荒木線の川北橋を整備するほか、道路改築、舗装修繕、歩道整備などの工事を実施する。												
主な支出に係る業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容										
	委託料	19,242	(現年5,417,680、繰越13,824,160)川北荒木線(川北橋)左岸道路設計、小谷ヶ丘堀山線用地測量ほか										
	使用料及び賃借料	6,965	(繰越)川北橋仮橋覆工板(左岸・右岸)賃借										
	工事請負費	457,862	川北橋上下部土工工事、同両岸築堤工事、川北荒木線道路新設改良工事ほか										
	公有財産購入費	36,920	川北荒木線、小谷ヶ丘堀山線に係る土地売買										
	補償、補填及び賠償金ほか	12,126	川北荒木線改良工事に係る土地の使用に関する補償ほか										

III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	336,317	422,000	330,000	124,868				
	② 補正予算	163,000	49,766	0	0				
	③ 繰越予算	△ 126,058	130,744	295,017	0				
	前年度繰越	299,702	425,761	295,017	0				
	次年度繰越	△ 425,761	△ 295,017	0	0				
小計(①~③)	373,259	602,510	625,017	124,868					
予算財源内訳	① 一般財源	21,905	23,412	27,696	10,066				
	② 国支出金	72,253	303,798	339,621	65,702				
	③ 府支出金	0	0	0	0				
	④ 地方債	279,100	275,300	257,700	49,100				
	⑤ その他特財	0	0	0	0				
決算情報	① 流充用額	0	△ 30,326	0	0				
	② 配当予算	373,259	572,183	0	0				
	③ 執行額	359,535	533,115	0	0				
	④ 執行率	96.3%	93.2%						
人概工算	① 従事職員数(正職員・兼任職員)	1.23/0	1.98 / 0.00	1.98 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	9,840	15,840	15,840	0				
トータルコスト(予算執行額+概算人件費)	369,375	548,955	15,840						
主な利用特財(N-1年度実績値)	特財名称	社会資本整備総合交付金(現年・繰越)	種類	土木費国庫補助金	実績金額	285,998	決算付属資料	20	頁
	特財名称	公共事業等(現年・繰越)	種類	土木債	実績金額	141,700	決算付属資料	52	頁
	特財名称	防災・減災・国土強靱化緊急対策	種類	土木債	実績金額	27,100	決算付属資料	52	頁

IV 業績指標

成果実績(アウトカム)実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	実施路線	路線		7/7	5/5	4 / 6	/ 3
活動実績(アウトプット)実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	実施路線	路線	7/7	5/5	4 / 6	/ 3	6
	単位あたりコスト		14523.29	71907.00	133278.69		
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	・安心・安全なまちづくりに関連した道路整備を行うことで、利用者、沿線住民の安全確保、利便性の向上を図る。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	・国の交付金である社会資本整備総合交付金を活用し、計画的に事業実施している。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	・道路を整備することにより、市民生活の安全性の向上を図るとともに、生活環境の整備が行なわれる。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	道路は市民生活や経済活動の基盤となる重要な社会資本であり、事業実施することで利用者、沿線住民の安全を確保するとともに、利便性の向上、観光及び産業の振興を図っている。幹線道路などにおいて新設改良を計画的に実施している。		
これまでの課題及び今後の方向性	通学路等の交通安全対策の推進や、道路構造物の老朽化対策、防災・減災対策と安心・安全な道路整備の推進に対する交付金制度を活用するなかで、安心安全な道路網の整備や道路状況を保持していくためには、本事業として効果は大きく、今後についても継続していく。国の交付金を活用して事業を実施するが、国からの交付金については、全国的に要望が多いことから本市の要望どおりに予算確保ができないことが課題である。		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中事業評価	

VII 評価をふまえた次年度事業方針

	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 事業の見直し	国へ提出している5箇年計画と整合を取り、補助金の確保を図りつつ、継続して適性に実施する。川北橋延伸工事の進捗を図り、由良川築堤工事の完成時期を見据えて実施していく。未就学児等の交通安全対策として道路改良工事を実施していく。 【H29棚卸による見直し状況】 事業採択の選定基準については策定済である。新規路線として、未就学児等の交通安全対策として必要な路線の道路改良工事を実施することとした。
	<input type="checkbox"/> 統合/組換	
	<input type="checkbox"/> 廃止/休止	
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 予算縮減
	<input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位:千円)

I 事業属性													
事業名	地域間交流促進ネットワーク事業(市道整備)												
事業担当	所属	建設交通部 道路河川課				所属長	芦田 裕人						
会計情報	事業コード	120353	款	08 土木費	項	02 道路橋りょう費	目	03 道路新設改良費	会計	01 一般会計	決算付属資料	194	頁
施策体系	施策コード	030302		施策名	市道などの整備を推進する								
計画期間	開始年度	平成28年度		終了予定年度	令和2年度		関連計画名	『北近畿の拠点"福知山"のネットワークを強化する道づくり計画(地域再生計画)』					
根拠法令等	-												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報									
事業目的(あるべき姿)	市内の道路網を整備し、交通の利便性、地域間交流の促進、交流ネットワークの強化を通じて、災害時における避難経路の確保、安全・安心な道路環境、観光入込客数の増加を図る。								
対象者	市民・地元住民・市道		対象者数	78,000		単位あたりコスト	2.0		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等	土木工事施工業者等								
事業概要(箇条書き)	○地域版総合戦略(まち・ひと・しごと・あんしん創生総合戦略)に基づいて、地域再生計画に位置付けて、自主的・主体的で先導的な事業を実施する。 ○地方創生推進交付金により、市道及び林道の道路改良・舗装改良を行う。								
主な支出に係る業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)		主な業務内容					
	委託料	17,733		笹場小野線測量設計業務					
	工事請負費	133,765		道路舗装改良工事(二瀬川大江山線、小倉線、上荒河観音寺線)、歩道新設工事(広小路勅使線)					

III 予算執行状況												
区分	H30(評価前年度)		R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	20,000		10,000		7,000		137,900				
	② 補正予算	115,347		43,074		0		0				
	③ 繰越予算	△ 114,699		96,625		18,074		0				
	前年度繰越	0		114,699		18,074		0				
	次年度繰越	△ 114,699		△ 18,074		0		0				
小計(①~③)	20,648		149,699		25,074		137,900					
予算財源内訳	① 一般財源	6,674		△ 6,395		2,332		6,950				
	② 国支出金	4,174		81,794		11,742		68,950				
	③ 府支出金	0		0		0		0				
	④ 地方債	9,800		74,300		11,000		62,000				
	⑤ その他特財	0		0		0		0				
決算情報	① 流充用額	0		1,800		0		0				
	② 配当予算	20,648		151,499		0		0				
	③ 執行額	20,648		151,499		0		0				
	④ 執行率	100.0%		100.0%								
人概工算	① 従事職員数(正職員・専任職員)	0.32/0		0.67 / 0.00		0.67 / 0.00		0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	2,560		5,360		5,360		0				
トータルコスト(予算執行額+概算人件費)	23,208		156,859		5,360							
主な利用特財(N-1年度実績値)	特財名称	地方創生道整備推進交付金(現年・繰越)		種類	土木費国庫補助金		実績金額	81,794		決算付属資料	20	頁
	特財名称	旧合併特例(現年・繰越)		種類	土木債		実績金額	27,000		決算付属資料	52	頁
	特財名称	補正予算・公共事業等(繰越)		種類	土木債		実績金額	45,000		決算付属資料	52	頁

IV 業績指標									
成果実績(アウトカム)実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	工事完成路線	路線	0 / 8	0 / 8	2 / 8	/ 8	8		
活動実績(アウトプット)実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	事業実施路線	路線	1 / 1	2 / 2	4 / 4	/ 1	8		
	単位あたりコスト		23184.00	10324.00	37874.64	/			
	単位あたりコスト		/	/	/	/			

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	<ul style="list-style-type: none"> 地方再生、定住化を進めていくためには、道路などの社会インフラが整っていることが基本であり、道路整備は必要である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	<ul style="list-style-type: none"> 本来ならば市単費で行わざるを得ない市道の道路改良について、国庫支出金を活用することで大幅にコストを削減した上で実施することが出来る。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年度から令和2年度までの5箇年で策定した地域再生計画に、市道及び林道の道路改良・舗装改良等を位置付け整備を行なうことは有効である。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	地方版総合戦略(まち・ひと・しごと・あんしん創生総合戦略)に基づいて、北近畿の拠点としてのネットワークづくりを強化して地域を再生していくために、地域再生計画『北近畿の拠点“福知山”のネットワークを強化する道づくり計画』を策定した。この地域再生計画に、市道及び林道の道路改良・舗装改良等を位置付け、平成28年度から令和2年度までの5箇年をかけて計画的に事業に取り組むことで、地方創生の推進に寄与できる。		
これまでの課題及び今後の方向性	地域再生計画では、少子高齢化・人口減少などの社会経済情勢の変化に対応した地域の再生を図ることを目的としているが、計画に掲載している市道を整備することで、観光客の流入を図り、地域経済の活性化を図るなど地方創生への効果が見えるようにしていく必要がある。		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中事業評価	

VII 評価をふまえた次年度事業方針

	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 事業の見直し	補助金の確保を図りながら、年次計画に基づき工事を適正に実施していく。 継続事業について補助事業などを活用しながら引き続き実施し、今後の計画について優先順位を考えながら期間延長を検討していく。 【H30棚卸による見直し状況】 市全体の道路改良・新設については一定優先度を見極めた上で取組んでいるが、今後において、全体の優先順位を明確にしていく必要があると考える。市として整備すべき路線を定め、有利な補助金事業に乗せて計画していることより、路線の進捗が図れるよう他の制度の活用も視野に入れ検討したい。
	<input type="checkbox"/> 統合/組換	
	<input type="checkbox"/> 廃止/休止	
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減
	<input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	橋りょう長寿命化対策事業												
事業担当	所属	建設交通部 道路河川課				所属長	芦田 裕人						
会計情報	事業コード	120324	款	08 土木費	項	02 道路橋りょう費	目	04 橋りょう維持費	会計	01 一般会計	決算付属資料	194	頁
施策体系	施策コード	030302		施策名	市道などの整備を推進する								
計画期間	開始年度	平成20年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名	-							
根拠法令等	-												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報													
事業目的 (あるべき姿)	橋りょうの定期的な修繕計画である長寿命化計画の策定を行い、予防的な修繕及び計画的な架け替えを行う。												
対象者	市民、利用者、市道の橋りょう			対象者数	78,000		単位あたりコスト	0.5					
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()												
委託先・実施主体等	測量設計業者、土木工事施工業者等												
事業概要 (箇条書き)	○橋りょうを良好な状態で維持するため、現況調査及び長期的な修繕計画である長寿命化計画の策定を行い、今後老朽化する道路橋の増大に対し予防的な修繕及び計画的な架け替えを進める。												
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)			主な業務内容								
	委託料	34,734			(繰越)橋りょう点検								

III 予算執行状況												
区分	H30(評価前年度)		R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	106,600	13,000	8,500	117,200							
	② 補正予算	0	20,500	0	0							
	③ 繰越予算	4,242	7,283	27,500	0							
	前年度繰越	39,025	34,783	27,500	0							
	次年度繰越	△ 34,783	△ 27,500	0	0							
小計(①~③)	110,842	40,783	36,000	117,200								
予算財源内訳	① 一般財源	2,696	12,380	7,123	0							
	② 国支出金	56,546	22,553	18,577	62,260							
	③ 府支出金	0	0	0	0							
	④ 地方債	0	0	10,300	25,100							
	⑤ その他特財	51,600	5,850	0	29,840							
決算情報	① 流充用額	△ 9,813	△ 6,000	0	0							
	② 配当予算	101,028	34,783	0	0							
	③ 執行額	74,174	34,734	0	0							
	④ 執行率	73.4%	99.9%									
人概工算	① 従事職員数 (正職員/専任職員)	0.43/0	0.66 / 0.00	0.66 / 0.00	0.00 / 0.00							
	② 概算人件費	3,440	5,280	5,280	0							
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	77,614	40,014	5,280									
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	社会資本整備総合交付金(繰越)		種類	土木費国庫補助金		実績金額	19,005		決算付属資料	20	頁
	特財名称			種類			実績金額			決算付属資料		頁
	特財名称			種類			実績金額			決算付属資料		頁

IV 業績指標									
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	橋りょう点検実施数	橋	337/1,101	113/1,081	269 / 1081	/ 1081	1081		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	橋りょう点検実施数	橋	337/1101	113/1081	269 / 1081	/ 1081	1081		
	単位あたりコスト		353.77	656.41	129.12	/			
	単位あたりコスト		/	/	/	/			

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	<ul style="list-style-type: none"> 橋りょう施設を長く良好な状態で維持していくことは、市民、利用者の安心安全な通行に必要である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	<ul style="list-style-type: none"> 策定計画に基づいて計画的に補修を行なっていくことで、予防的な修繕及び計画的な架け替えに方針転換でき維持管理費の縮減につなげることができる。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	<ul style="list-style-type: none"> 施設の維持管理費の縮減を図ることができる。 道路橋の安全性、信頼性を確保することができる。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	平成26年7月より、5年に1度の近接目視点検を行ない、点検結果により長寿命化計画を策定して維持管理を実施している。健全度を4段階で評価しており、市内の橋りょうについては現在の状況を踏まえた上での維持管理を行っている。		
これまでの課題及び今後の方向性	5年に1度の点検が必要であり、限られた期間で、点検を完了していかなければならないため、計画的に進めていくことはもちろん、執行にかかる予算、財源についても確保していく必要がある。点検費用が莫大であるため、職員による点検を実施するための技能取得や、国に対し点検期間・内容も含めたルール改善を要望している。業績指標については、計画策定後に設定する予定である。		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中事業評価	

VII 評価をふまえた次年度事業方針

	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	補助金の確保を図りつつ、継続して適正に実施していく。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	---

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	街路事業(多保市正明寺線 高畑工区)												
事業担当	所属	建設交通部 都市・交通課					所属長	清水 俊行					
会計情報	事業コード	120328	款	08 土木費	項	04 都市計画費	目	03 街路事業費	会計	01 一般会計	決算付属資料	198	頁
施策体系	施策コード	030302	施策名	市道などの整備を推進する									
計画期間	開始年度	平成19年度	終了予定年度	令和元年度	関連計画名	未来創造福知山、福知山都市計画マスタープラン							
根拠法令等	都市計画法												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input type="checkbox"/> 継続中 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	東部地区と中心市街地を結ぶアクセスを強化し、また長田野工業団地と国道175号との流れをスムーズにするため、幅員を広げ歩道を設けた橋梁を新規に架け替えることにより都市計画道路網を整備していく。								
対象者	市民	対象者数	78,000	単位あたりコスト	0.8				
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (工事)								
委託先・実施主体等	大栄工業株式会社、公益社団法人京都公共嘱託登記土地家屋調査士協会、藤井不動産鑑定株式会社								
事業概要 (簡条書き)	平成29年度に供用開始を行い、最終年度となる平成30年度予算で旧橋等の撤去を実施した。								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	役員費	1	その他手数料						
	委託料	626	公共嘱託登記業務(多保市正明寺線 高畑工区) 等						
	工事請負費	56,139	多保市正明寺線(高畑工区)旧橋撤去工事						
	公有財産購入費	1,276	多保市正明寺線(高畑工区)用地買収費用						
補償、補填及び賠償金	242	多保市正明寺線(高畑工区)物件補償費用							

III 予算執行状況									
区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	134,029	0	0	0				
	② 補正予算	△ 8,000	0	0	0				
	③ 繰越予算	2,812	60,161	0	0				
	前年度繰越	62,973	60,161	0	0				
	次年度繰越	△ 60,161	0	0	0				
小計(①~③)	128,841	60,161	0	0					
予算財源内訳	① 一般財源	9,790	2,342	0	0				
	② 国支出金	38,551	13,419	0	0				
	③ 府支出金	0	0	0	0				
	④ 地方債	80,500	44,400	0	0				
	⑤ その他特財	0	0	0	0				
決算情報	① 流充用額	26	0	0	0				
	② 配当予算	128,868	60,161	0	0				
	③ 執行額	127,665	58,284	0	0				
	④ 執行率	99.1%	96.9%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.32/0	0.20 / 0.00	0.00 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	2,560	1,600	0	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	130,225	59,884	0						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	社会資本整備総合交付金	種類	土木費国庫補助金	実績金額	13,418	決算付属資料	20	頁
	特財名称	旧合併特例債	種類	土木債	実績金額	40,500	決算付属資料	52	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標									
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	都市計画道路進捗率	%	69.49/69.49	69.49/69.49	69.49 / 69.49	/			
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	事業費ベースによる進捗率	%	94.27/93	98.16/98	100 / 100	/			
	単位あたりコスト		1837.72	1300.58	582.84	/			
	単位あたりコスト				/	/			

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	通学路及び自動車交通の安全性の観点から急務となっている事業である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	徹底した施工管理等により適切なコストで実現できている。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	現状道路は、通学路となっているものの、橋梁部は歩道がなく狭いため、歩行者の安全確保が求められていたことから、通学路の安全確保を行うことにより、課題を解消することができる。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	国土交通省及び京都府との河川協議により、河川内工事期間が制限されたことにより、一部平成30年度予算を平成31年度に繰越を行ったが、適切な施工管理により概ね予定通りに進めることができ、平成30年度予算にて事業完了した。		
これまでの課題及び今後の方向性	平成30年度予算にて事業完了した。		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	令和元年度をもって事業完了。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	---

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	街路事業(篠尾線 篠尾工区)												
事業担当	所属	建設交通部 都市・交通課					所属長	清水 俊行					
会計情報	事業コード	120332	款	08 土木費	項	04 都市計画費	目	03 街路事業費	会計	01 一般会計	決算付属資料	198・200	頁
施策体系	施策コード	030302	施策名	市道などの整備を推進する									
計画期間	開始年度	平成30年度	終了予定年度	令和4年度	関連計画名	未来創造福知山、福知山都市計画マスタープラン							
根拠法令等	都市計画法												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	該当地区を道路整備することにより、通学路の安全確保、道路網の構築、国道9号4車線化工事との相乗効果を図る。								
対象者	市民	対象者数	78,000	単位あたりコスト	0.2				
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等	株式会社ウエスコ京滋支店								
事業概要 (簡条書き)	市道福知山停車場奥榎原線から国道9号間の210m区間について、国道9号4車線化工事にあわせた事業化を行う。								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	旅費	70	篠尾線(篠尾工区)にかかる地権者協議 等						
	需用費	13	消耗品費						
	委託料	11,623	篠尾線(篠尾工区)道路詳細設計業務 等						

III 予算執行状況									
区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	9,829	42,758	58,000	88,581				
	② 補正予算	0	△ 40,199	0	0				
	③ 繰越予算	△ 9,756	9,756	0	0				
	前年度繰越	0	9,756	0	0				
	次年度繰越	△ 9,756	0	0	0				
小計(①~③)	73	12,315	58,000	88,581					
予算財源内訳	① 一般財源	△ 661	930	8,237	11,167				
	② 国支出金	734	5,027	28,663	44,244				
	③ 府支出金	0	0	0	0				
	④ 地方債	0	6,100	21,100	32,500				
	⑤ その他特財	0	258	0	670				
決算情報	① 流充用額	13	0	0	0				
	② 配当予算	86	12,315	0	0				
	③ 執行額	86	11,706	0	0				
	④ 執行率	100.0%	95.1%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員・専任職員)	0.62/0	0.32 / 0.00	0.32 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	4,960	2,560	2,560	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	5,046	14,266	2,560						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	社会資本整備総合交付金	種類	土木費国庫補助金	実績金額	5,027	決算付属資料	20	頁
	特財名称	街路事業用地貸付収入	種類	財産貸付収入	実績金額	352	決算付属資料	32	頁
	特財名称	公共事業等債	種類	土木債	実績金額	1,000	決算付属資料	52	頁

IV 業績指標									
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	都市計画道路進捗率	%		69.49/69.49	69.49 / 69.49	/ 69.49	69.84		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	事業費ベースによる進捗率	%		1/100	2 / 100	/ 100	100		
	単位あたりコスト			86.00	5852.88	/	/		
	単位あたりコスト				/	/			

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	通学路及び自動車交通の安全性の観点から急務となっている事業である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	国道9号4車線化工事にあわせて事業化を行うことで、適切なコストで大きな効果を得ることができる。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	現状は既存道路において歩道の未整備、狭小区間があり、歩行者の安全確保が求められていることから、通学路の安全確保を行うことにより、課題を解消することができる。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	道路詳細設計が完了し、用地調査業務を発注、完了した。		
これまでの課題及び今後の方向性	用地測量等を実施し、工事の着工及び期限内の事業完了を目指す。		

VI 他部署評価

事後事業評価			
事中事業評価			

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	令和3年度は用地測量業務費、用地買収費及び物件移転補償費を計上している。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	---

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	未登記用地測量事業												
事業担当	所属	建設交通部 用地課					所属長	貴田 直子					
会計情報	事業コード	120306	款	08 土木費	項	02 道路橋りょう費	目	03 道路新設改良費	会計	01 一般会計	決算付属資料	192	頁
施策体系	施策コード	030302		施策名	市道などの整備を推進する								
計画期間	開始年度	平成26年度		終了予定年度	令和2年度		関連計画名	-					
根拠法令等	-												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	道路改良工事等において、現況市道内に未登記用地(個人名義等)の存在が発覚した場合、その権原を取得する。								
対象者	発覚した土地の所有者		対象者数	21		単位あたりコスト	183.9		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等	公益社団法人京都公共嘱託登記士地家屋調査士協会								
事業概要 (簡条書き)	・市道内の未登記用地について、分筆登記及び寄附による所有権移転を行う。 ・登記に必要な測量及び登記事務に係る委託業務を行う。								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)		主な業務内容					
	委託料	406		測量業務					

III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	1,335	413		500		500				
	② 補正予算	0	0		0		0				
	③ 繰越予算	0	0		0		0				
	前年度繰越	0	0		0		0				
	次年度繰越	0	0		0		0				
小計(①~③)	1,335	413		500		500					
予算財源内訳	① 一般財源	705	86		0		0				
	② 国支出金	0	0		0		0				
	③ 府支出金	0	0		0		0				
	④ 地方債	0	0		0		0				
	⑤ その他特財	630	327		500		500				
決算情報	① 流充用額	0	0		0		0				
	② 配当予算	1,335	413		0		0				
	③ 執行額	1,334	406		0		0				
	④ 執行率	100.0%	98.3%								
概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.27/0.35	0.26	/	0.55	0.26	/	0.55	0.00	/	0.00
	② 概算人件費	3,035	3,455		3,455		0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	4,369	3,861		3,455							
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	法定・法定外公共物占用料(里道・水路)		種類	財産貸付収入		実績金額	406	決算付属資料	32	頁
	特財名称			種類			実績金額		決算付属資料		頁
	特財名称			種類			実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標	
		寄附を受けた土地の面積	m ²	1230.65	88.01	1659.54 / 1659.54	/ 1000	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標	
		寄附申出による登記筆数	筆	25	9	30 / 30	/ 20	
		単位あたりコスト		0.00	148.40	13.53		
		単位あたりコスト		/	/	/	/	

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	<ul style="list-style-type: none"> 現況市道内に未登記用地が発覚した場合は、その権原の取得を行う必要がある。 寄附行為であるため、十分な説明が必要である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	<ul style="list-style-type: none"> 市道内未登記用地の寄附を受けるためには、分筆が必要になる場合があり、分筆登記に係る業務発注が必要であるため、十分な事前調整の上、依頼をしている。 分筆登記に対応できることにより、隣接する分筆を要しない土地の権原も一括して取得できる。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	<ul style="list-style-type: none"> 必要となれば、分筆登記にも対応できるとの裏付けが備わることにより、未登記用地の整理に積極的な姿勢で臨むことができるため、寄附面積そのものが成果を表している。 未登記用地が解消された結果、公共施設の維持管理ならびに隣接する民有地の土地利用増進に寄与する。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	<p>道路改良事業等において未登記用地が発覚する場合と、所有者自らが申し出られる場合とがあるが、いずれにしても市道内に存在する民地については、その権原の取得が必要となる。 現状として、申し出のあった寄附行為については、分筆等も含め、適正且つ速やかに対応できている。</p>		
これまでの課題及び今後の方向性	<p>未登記用地については、その全数は把握しきれない状況であるが、今後、地籍調査事業を通じて明らかになるものについても所有者に説明の上、その権原の取得に努めていく必要がある。</p>		

VI 他部署評価

事後事業評価			
事中山業評価			

VII 評価をふまえた次年度事業方針

	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	---